

1. CloudStack(管理画面)へのログイン

CloudStack にログインする際に、ユーザ名とパスワードを入れます。

アカウント発行時のユーザ名とパスワードをご利用ください。

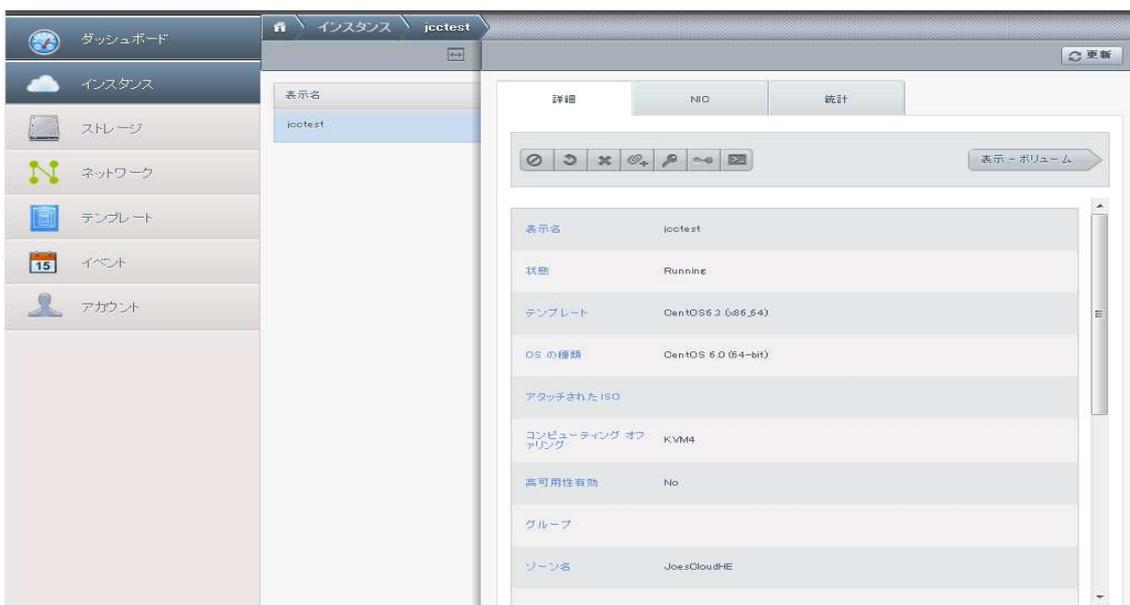
ドメインは空欄としてください。



2. インスタンスの動作確認

インスタンスとは仮想サーバのことを指します。

左メニューのインスタンスにて、表示・追加・起動・停止・破棄等インスタンスに関する全てのことが行えます。

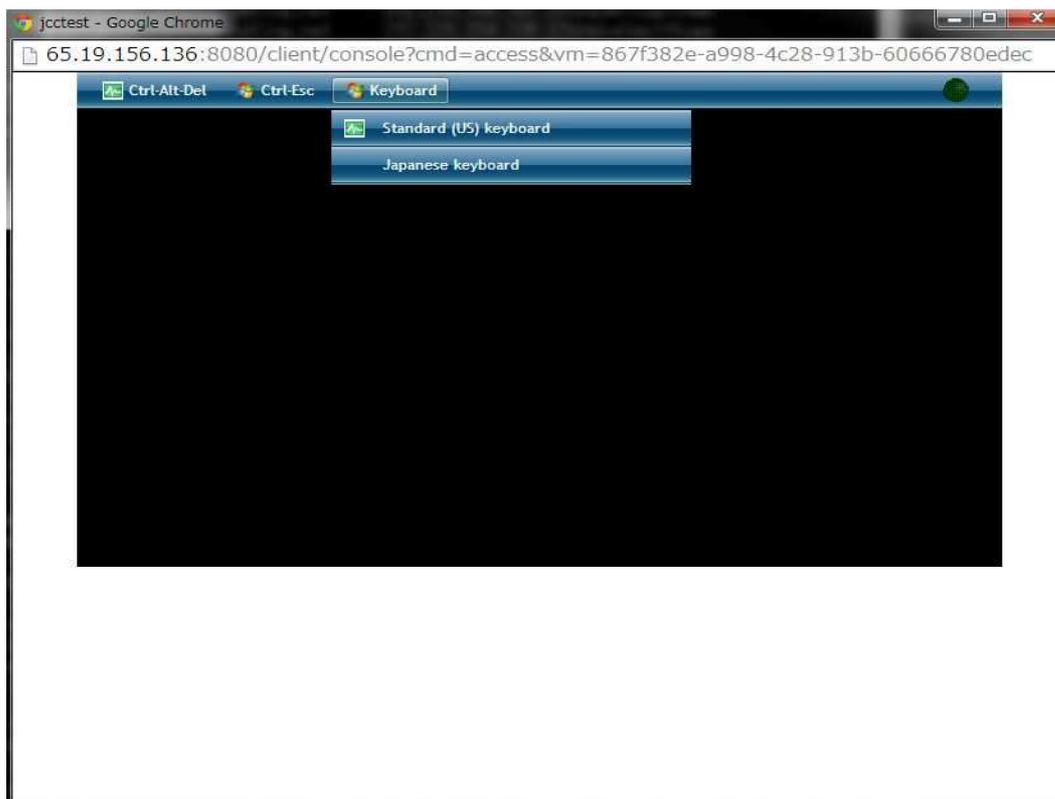


※VPS では、通常はインスタンスが 1 個です。停止と再起動を選択できます。

CloudStack では、インスタンスの追加と破棄の機能を利用することにより、お客様が契約されているインスタンス数分の仮想サーバを自由に追加・破棄することが可能です。

CloudStack のシェル端末を利用する場合は、

該当インスタンスの黒いコンソール画面をクリックすることで別ウインドウが開きます。



注: Google Chrome を使用している場合、CloudStack のコンソール画面で、アクセス出来ない状態になることがあります。その場合、画面を右クリックして、「ページのソースを表示」を選択して、表示された URL へのリンクをクリックすれば、元の状態に戻ります (Google Chrome の仕様)

初期段階では、CentOS がインストールされています。

テンプレートから選択した場合、ルートパスワードが password になっているので、‘passwd’ コマンドを利用して直ちに変更をお願いします。

```
[root@i-3-252-UM ~]# passwd
Changing password for user root.
New password:
Retype new password:
passwd: all authentication tokens updated successfully.
[root@i-3-252-UM ~]# _
```

※ 初期設定以外の OS をお客様自身でインストールする場合は以下の手順にて実行してください。

1) 左メニューの、“インスタンス” -> “インスタンスの追加” をクリック



2) 弊社で予め用意したテンプレートを利用する場合

お客様の OS テンプレートを選択して、ウィザードに従って追加してください。

3) 弊社で予め用意した ISO イメージを利用する場合

ISO ブートから、お客様の OS イメージを選択して、ウィザードに従って追加してください。インスタンスが起動すると、選択した OS のインストーラーが起動致します。

4) ご自身で ISO イメージをアップロードして利用する場合

マイテンプレートから、お客様自身でダウンロードした OS イメージを選択して、ウィザードに従って追加してください。

※マイテンプレートをご利用の際には、予め “テンプレート” -> “ISO” -> “ISO の登録” より ISO ファイルを追加いただく必要がございます。

3. インスタンスのネットワーク設定

インターネットから CloudStack 内のインスタンスへアクセスするために、予め設定されているパブリック IP アドレスとインスタンスに自動的に割り当てられているプライベート IP アドレスとの紐付け(NAT)が必要になります。

以下、SSH(ポート 22)と Apache(ポート 80)の設定例をご参照ください。

・SSH の設定例

CloudStack の内部のシェル端末は、Copy/Paste ができないなど、操作性が悪いと判断された場合、SSH を利用して外部のシェル端末(PuTTY など)の利用を検討してください。

詳細	構成
	
ID:	d34dc8fd-4131-45ed-3657-ddc061eba8cf
関連づけられたネットワーク ID:	1be4f353-f73d-4530-a7b5-d93fb14d3ff9
関連づけられたネットワーク:	icctest
状態:	Allocated
ネットワーク ID:	ca76ff79-4cb9-4b0b-aec2-3dc77eaff0d4
送信元 NAT:	Yes
静的 NAT:	No
VM 名:	
ドメイン:	ROOT
アカウント:	demo

※左メニューの、「ネットワーク」 -> “表示 - IP アドレス” 詳細画面

パブリック IP アドレスへのトラフィックを許可するために、ファイアウォールを設定して、ポートの開放を行います。



※ 左メニューの、” ネットワーク ” -> “表示 - IP アドレス” -> 構成タブ
-> ファイアウォール

プライベートポートとパブリックポートの紐付けを行います。



※ 構成タブ -> ポート転送

・ Apache の設定例

インスタンス内にてお客様には、root 権限がございますのでお好みのアプリケーションのインストールが可能となります。

以下、Apache の利用手順例となります。

- `yum -y install httpd` にて Apache をインストール
- `/etc/rc.d/init.d/httpd start` にて Apache を起動
- インスタンス内のファイアウォール機能である iptables を設定
(`iptables -I INPUT -p tcp --dport 80 -j ACCEPT`)
- プライベートポートとパブリックポートの紐付けを行う

ポート転送

プライベート ポート	パブリック ポート	プロトコル	VM の追加	操作
<input type="text"/>	<input type="text"/>	TCP ▼	<input type="button" value="追加"/>	
80	80	TCP	icctest	 
22	22	TCP	icctest	 

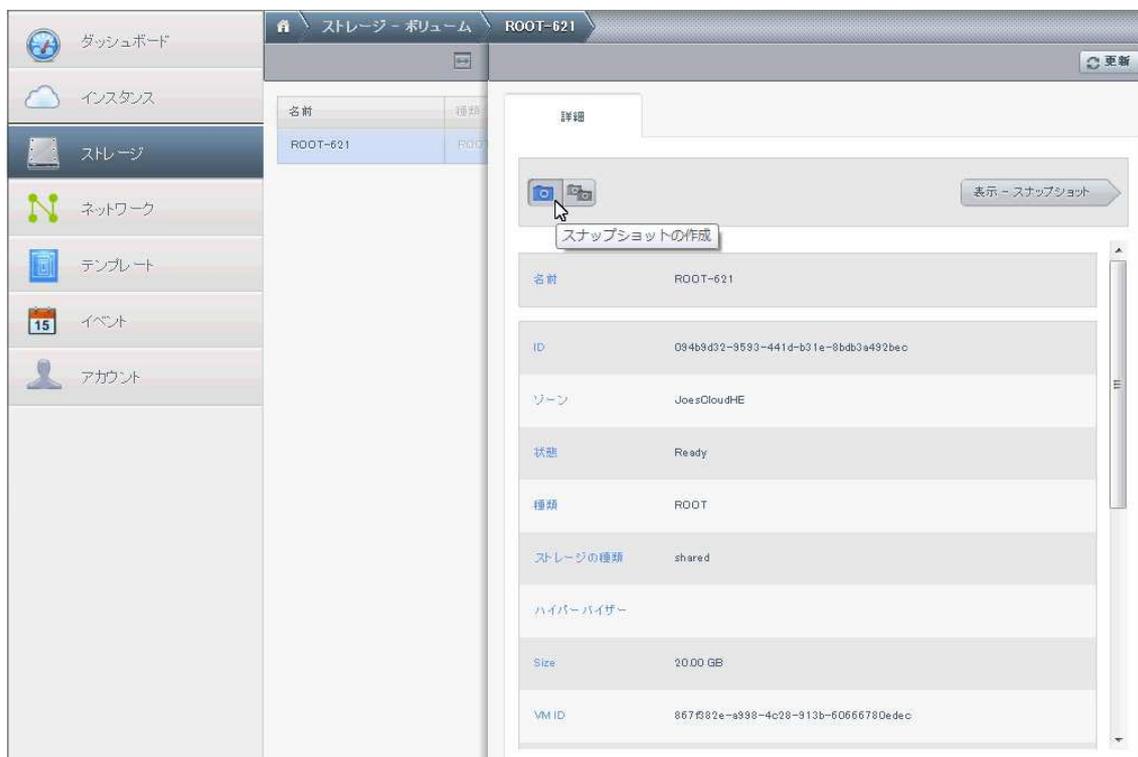
※ SSH と Apache のプライベートポートとパブリックポートの紐付け後

さらに進んだ活用方法

スナップショットの作成

スナップショット作成を実行することでスナップショットが作成されます。
スナップショットと後述のテンプレートを組み合わせることで、スナップショット時点の環境を復元することが可能となります。

また、インスタンスは実行中でも停止中でも取得可能です。



※左メニューの、「ストレージ」詳細画面

テンプレートの作成

テンプレートを作成することで、スナップショット時点の環境を元にしたインスタンスの追加が可能となります。

※左メニューの、“テンプレート” -> テンプレートの登録



テンプレートの登録

*名前:

*説明:

*URL:

ゾーン:

ハイパーバイザー:

形式:

OSの種類:

抽出可能:

パスワード管理有効:

パブリック:

キャンセル OK

※テンプレート作成時に、“パブリック”にチェックを入れると、“コミュニティテンプレート”としてテンプレートが公開されてしまいますためご注意ください。